

試合番号 : 345		試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館				観客数 : 624			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:33		試合時間 : 01:33		主審 : 津嶋 由香			
副審 : 明井 寿枝		トヨタ車体クインシーズ		通算		0勝 10敗			
通算		4勝 6敗		ポイント : 12		ポイント : 0			
監督コメント	本日にもたくさんのご声援ありがとうございました。ホームゲームでの連勝を嬉しく思います。良いプレーもありましたが、まだまだ課題が残る試合でした。試合が1週空きの期間でしっかりと練習をし、強いチームへと成長した姿をお見せできるように準備して、次の岡山戦に臨みます。連勝を切らさないように、精一杯頑張りますので、引き続きご声援をよろしくお願い致します。		3	25	18	0	監督コメント	ひたちなかホームでの連勝を飾った日立Astemoの皆さんにおめでとうございませうと申し上げます。厳しい点差の状況でも攻め続けることで勝機がやってきます。足りない部分から目を背けず、常に挑戦し、変化する勇気を持って次戦に備えます。トヨタ車体には秘めた力があります。それを発揮させ、思い切り長く勝負することができるようにサポートし続けたいと思います。会場、TVでの応援の声を受け止めております。2日間どうもありがとうございました。	
	第1セット、日立Astemoリヴァーレは長内のブロック、渡邊のスパイクがテンポよく決まりリードする。トヨタ車体クインシーズはケルシーを中心に攻撃するが追いつくことができない。日立Astemoはセッター雑賀が負傷により交代するトラブルが起きたが、終始日立Astemoがリードしてセットを奪った。			30	28			第2セット	
	第2セット、スタートからトヨタ車体はセンターを周田に代えて松本を投入。終盤まで2点差以上離れないシーソーゲームが続く。日立Astemoは渡邊、タップのセンター攻撃、トヨタ車体は黒須、藪田のアウトサイドからの攻撃で得点を重ねる。デュースにまでもつれたが、最後は日立Astemo室岡がスパイクを決め、セットを連取した。			25	20			第3セット	
	第3セット、日立Astemoは室岡がスパイク、ブロックで連続得点し流れを掴む。トヨタ車体はケルシーにトスを集めるが、日立Astemoの粘り強いレシーブに拾われ差が縮まらない。終盤、トヨタ車体は途中出場の山上のサービスエースで反撃ムードになったが、日立Astemoの勢いは止まらず勝利を収めた。			第4セット				第5セット	
	要約レポート								
試合番号 : 346		試合会場 : 金沢市総合体育館				観客数 : 1,079			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:24		試合時間 : 01:24		主審 : 佐藤 美里			
副審 : 新田 浩幸		PFUブルーキャッツ		通算		7勝 3敗			
通算		5勝 5敗		ポイント : 15		ポイント : 22			
監督コメント	私達のチームに足りないところがこの2日間のゲームを通して分かりましたので、それを次戦に生かしたいと思っております。金沢でのホームゲームが連敗となり、とても悔しいところではありますが、次の試合に成長した姿をお見せ出来るよう、日々の練習を頑張ります。本日、沢山の応援ありがとうございました。		0	22	25	3	監督コメント	今日の試合は、サイドアウトで苦しむ場面もありましたが、サーブで相手を崩しながら得点を重ねることができ、粘り強く戦うことができたと思います。また次の試合へ向けて、しっかりと調整をして準備をしていきたいと思っております。本日にもたくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。	
	ホームゲームでの連敗を避けたいPFUブルーキャッツと、連勝し勢いに乗っていきたい東レアローズの一戦。			22	25			第2セット	
	第1セット、序盤から一進一退の攻防が繰り返されたが、中盤から東レがクラン、石川のスパイクで徐々にリードを広げた。PFUも志摩、バルデスの攻撃を中心に食い下がるも、東レが先取した。			21	25			第3セット	
	第2セット、PFUが序盤リードするも、東レがクランのスパイクとブロックで中盤に逆転に成功した。PFUが綿引のブロックで流れを引き戻し再度リードするも、東レが関のサービスエースやクランのブロックなどで再度逆転し、セットを連取した。			第4セット				第5セット	
	第3セット、序盤から東レがクラン、石川、小川の攻撃でリードを保つも、中盤PFUは高相、鍋谷、ジャンの活躍で同点に追いついた。終盤、両チームとも一歩も譲らぬ戦いを見せたが、最後は小川のサービスエースで東レが勝利した。			要約レポート					
試合番号 : 347		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 1,388			
開始時間 : 13:05		終了時間 : 14:40		試合時間 : 01:35		主審 : 千代延靖夫			
副審 : 吉岡 奈々		ヴィクトリーナ姫路		通算		10勝 0敗			
通算		3勝 7敗		ポイント : 8		ポイント : 30			
監督コメント	3週にわたるホームゲームの最終戦を良い形で終わることができるように意気込んでゲームに臨みましたが、JTのプレーのクオリティーが一枚も二枚も上手でした。特にオフェンスの部分で得点源を封じられたことが厳しい戦いとなりました。次のゲームまで1週空くのでチームとして得点の取り方をもう一度構築していきたいと思っております。JTから学ぶものが非常に多い2日間でした。最後まで応援でチームを後押ししていただき、ありがとうございました。		0	17	25	3	監督コメント	アウェイ第2戦。会場の一体感と姫路の選手達の勢いで、タフなゲーム展開が予想されました。姫路のサイドアタッカーに対して、ブロックとディフェンスの確認をコート内で修正しながら戦えました。苦しい時間もありましたが、自分達のハードワークと集中力が勝利に繋がり、収穫となるゲームとなりました。毎週のゲームでチームが成長できるように次の準備をしていきます。2日間応援ありがとうございました。	
	ホームで連敗を避けたいヴィクトリーナ姫路とJTマーヴェラスとの一戦が始まった。			13	25			第2セット	
	第1セット、姫路はブラクにボールを集めるが、JTは田中、林のスパイクで姫路を引き離す。姫路はメンバーチェンジで流れを戻そうとするがJTの勢いは止まらず、最後は和田のサービスエースで先取した。			26	28			第3セット	
	第2セット、JTはタツダオのスパイク、芥川のパックでリードをする。姫路はブラクのブロック、田中のサービスエースでじりじりと追い上げるが、JTは小幡の好レシーブ、ドルーズのスパイクでセットを連取した。			第4セット				第5セット	
	第3セット、後がなくなった姫路は、孫田のブロック、宮地のスパイクで流れを掴む。JTは柴田の相手に的を絞らせないトスワークとドルーズ、田中のスパイクで逆転し、粘る姫路を突き放し連勝を伸ばした。			要約レポート					
試合番号 : 348		試合会場 : サンアリーナせんだい (薩摩川内市総合体育館)				観客数 : 760			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 木内 誠二			
副審 : 平田 敬基		久光スプリングス		通算		0勝 10敗			
通算		8勝 2敗		ポイント : 25		ポイント : 0			
監督コメント	鹿児島でのホームゲームを2連勝という快挙で終わったことを嬉しく思います。第1セット、スタートがもたついてしまいましたが自分たちのリズムで展開することができた。また、第2セット以降ディフェンス面の修正ができたことも勝因となった。チームとしては課題もあるが、チャレンジしていき、リーグを通しての成長を目指す。		3	28	26	0	監督コメント	アウェイでの久光スプリングスとの第2戦、初勝利を目指して臨んだゲームでした。第1セットから、久光の高さとパワーのある攻撃に苦しめられ、自分たちのリズムがつかず、デュースに持ち込んだものの先取され、その後も終始リードを許し、0-3の完敗となりました。この2戦での反省点を修正し、翌週のデンソー戦の準備をしたいと思っております。今後とも応援よろしくお願い致します。	
	2連勝を目指す久光スプリングスと今季初勝利に意気込みKUROBEアクアフェアリーズとの一戦。			25	18			第2セット	
	第1セット、久光のセッター柴が井上(愛) 平山、白澤などアタッカー陣を巧みに使い、主導権を握り14-8とリードする。しかし、ここから久光にミスが続くKUROBEラッツのブロックポイントも飛び出すなど、15-15と接戦の展開に。久光は井上(愛)、今村、KUROBEはラッツ、金杉を軸にお互い一歩も譲らずデュースへもつれ込むが、最後は井上(愛)が強烈なアタックを叩き込み28-26で久光が先取した。			25	19			第3セット	
	第2セット、第1セットを接戦の末奪った久光は、一気に流れを掴もうとエース井上(愛)にボールを集め13-8とリードする。KUROBEはクラムのライト攻撃やラッツのブロックポイント等で応戦するもその差はなかなか縮まらない。久光は白澤の強弱をつけた巧みなアタックや井上(愛)、今村の安定した攻撃で粘るKUROBEを振り切り25-18でセットを連取した。			第4セット				第5セット	
	第3セット、ゲーム中盤までは接戦の展開となる。久光は12-11、1点リードの場面、2救済で井上(美)、長岡を投入し勝負に出る。これが功を奏し井上(美)のサービスエースで得点すると、井上(愛)、長岡のアタックで立て続けにブレイクし、17-12と大きくリードを広げる。KUROBEはラッツにボールを集め追い上げを見せたが、最後まで久光の堅い守りを崩せず25-19で久光がこのセットを取り、セットカウント3-0で久光が8勝目を挙げた。			要約レポート					

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。